

お取引先各位

白銅株式会社

### 立花金属工業株式会社のアルミ製品に関するご連絡

この度は、三菱アルミニウム株式会社から発表がありました同社および同社の子会社である立花金属工業株式会社（以下「立花金属工業」といいます。）による検査記録の不適切行為の問題に関してご迷惑をお掛けしており、誠に申し訳ございません。

立花金属工業からは、弊社が仕入れている標準在庫品（アルミ型材、アルミ丸管）の一部も不適切行為の対象に含まれているとの報告を受けました。

このことを受けまして、弊社が立花金属工業から納入を受けている標準在庫品（アルミ型材、アルミ丸管）について下記の通りに対応させていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

##### 1. 不適切行為の対象商品

A6063型材およびA6063引抜丸管

63S平角棒、63S四角棒、63Sアングル、63S（R付）アングル、63S不等辺アングル、63Sチャンネル、63S（R付）チャンネル、63S平角管、63S四角管、63S引抜丸管

##### 2. 不適切行為の内容

- ・一部製品の硬さ測定において、JIS規格に合致しないウェブスター硬度計で測定を行い、同規格で求められる検査であるビッカース硬度計での測定値に換算していた。
- ・一部製品において、硬さ検査のみを実施し、測定していない機械的性質（引張強さ、耐力、伸び）の数値を記入した検査成績書を発行していた。

##### 3. 弊社の対応

立花金属工業から納入を受けている上記対象商品につきましては、本件を重大な問題と受け止め、出荷停止とさせていただきます。

また、立花金属工業に対して、上記不適切行為について、徹底した原因究明と速やかな情報開示を強く求め、適宜情報を公開いたします。

今後の出荷については、立花金属工業の製品の安全性、信頼性を確認しつつ、対応方法を慎重に検討いたします。

今後も引き続き同社からの情報を収集して参ります。度重なるご心配・ご迷惑をお掛けしていること、謹んでお詫び申し上げます。

以上

2018年2月9日

白銅株式会社 御中

立花金属工業株式会社



弊社アルミ製品に関するご連絡

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別なるお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、弊社親会社である三菱アルミニウム株式会社から発表がありました弊社による不適切な検査もしくは検査における不適切行為の問題に関してご迷惑をお掛けしており、誠に申し訳ございません。

大変恐縮ながら、弊社が貴社に納品しております標準在庫品（アルミ型材、アルミ丸管）の一部も以下のとおり不適切行為の対象に含まれていることをご報告申し上げます。

記

1. 不適切行為の対象商品(確認期間は2017年1月～2018年1月納入分)

A6063 型材およびA6063 引抜丸管

2. 不適切行為の内容

- ・一部製品の硬さ測定において、JIS規格に合致しないウェブスター硬度計で測定を行い、同規格で求められる検査であるビッカース硬度計での測定値に換算していた。
- ・一部製品において硬さ検査のみを実施し、測定していない機械的性質(引張強さ、耐力、伸び)の数値を記入した検査成績書を発行していた。

3. 弊社の対応

弊社としましては、上記不適切行為について、徹底した原因究明と適切な情報開示を行います。

今後も引き続き貴社からのご要望に真摯に対応致します。度重なるご心配・ご迷惑をお掛けしていること、謹んでお詫び申し上げます。

以上